

Anti human LRH-1 mouse monoclonal antibody

LRH-1: Liver Receptor Homologue 1

| | |
|--------------|--|
| 製品コード | PP-K8801-00 |
| Clone No. | K8801 |
| Lot. | A-3 |
| 濃度 | 1mg/mL |
| 容量 | 100 μ L |
| Ig class | G2a |
| Nomenclature | NR5A2 |
| Genbank | U80251 |
| 由来 | ヒトLRH-1 (2-33 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。 |
| 特異性 | ヒト LRH-1 α , β と特異的に反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。 |
| 精製法 | 硫酸塩析法 |
| 溶媒 | 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN ₃ 添加) |

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

| | |
|------------------|----------------------------|
| Western Blot | 可 参考使用濃度 2 μ g/mL |
| 非還元 Western Blot | 未検討 参考使用濃度 - |
| ELISA | 可 参考使用濃度 0.5 μ g/mL |
| 免疫沈降 | 可 参考使用濃度 適宜調製してください |
| Supershift Assay | 未検討 参考使用濃度 - |
| クロマチン免疫沈降 | 未検討 参考使用濃度 - |
| 免疫染色 | 未検討 参考使用濃度 - |

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Miki Y, *et al.* Cancer Lett. 2006; 244(1): 24-33.

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jul 30, 2009